

○収穫残渣などを有効利用して、簡易に排水対策と土壌改良が可能となります。

## 背景・ねらい

- 田畑輪換等における圃場の排水性向上、土壌理化学性改善の主要な対策として、公共事業等による暗渠整備が行われているが、費用が高く、短期間での実施面積に限界がある。
- これを補う排水対策として、補助暗渠(弾丸暗渠など)の施工があるが、持続性が短く、毎年施工が必要であり、疎水材の運搬、投入等の労力がかかる。
- 上記の方法よりも簡易に排水改良、土壌改良等を行える技術が要望されている。

## 適用範囲

排水不良地域の生産者等。

## カットソイラーの概要

- カットソイラーは、圃場に散在する収穫残渣(細断されたもの)等を、切断成形して持ち上げた土塊の下の溝に埋め込み有材の補助暗渠を作る。



カットソイラーの概略図

## カットソイラー仕様



適用トラクタ	60～120ps(4輪駆動)
重量	700kg
作業深さ	400～600mm
作業速度	2～3km/h

## 効果と留意点

- ◆畑作物(テンサイ、大豆、麦、トウモロコシ等)に対する効果が高く、増収による収益で施工費を賄うことが可能。(実証試験結果より)
- ◆資材投入量の目安は、わら類が100～300kg/10a、堆肥が4～8t/10a。
- ◆石礫や埋木の多い圃場は適用不可。

## 詳細情報

農研機構「農家が収穫残渣等を活用して排水改良できる有材補助暗渠機「カットソイラー」」

[https://www.naro.go.jp/project/results/laboratory/nkk/2015/15\\_003.html](https://www.naro.go.jp/project/results/laboratory/nkk/2015/15_003.html)

(株)北海コーキ

<https://hokkai-koki.sakura.ne.jp/>

資料作成協力: 農研機構